

緑化だより

No.138 平成30年5月号



ヤマフジ

5月 休園日はありません

- 季節の花(フジ)
- 昆虫の話(日本一美しい狩人)
- 春の園芸作業
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内



ひろしま 遊学の 森

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

フジ

「恋しけば 形見にせむと我が屋戸に 植えし 藤波 今咲きにけり」

山部赤人

万葉集

8:1471

これを訳しますと

(あの人が恋しくなったら 身や心を寄せて偲ぼうと 私の庭先に植えておいた藤の花が波打つて咲いたところです。あの人は今頃どうしているのでしょうか)

この歌は時の流れの内に恋の経緯を表し、恋しい人に逢えない思いをほのかに綴っています。

フジはマメ科フジ属の、つる性落葉木本です。

日本にはヤマフジ(ノフジ)とフジ(ノダフジ)の2種類が自生しています。ヤマフジはやや暖地性で兵庫県以西～九州に自生しています。ノダフジは大阪市野田に江戸時代から「野田の藤」として有名です。ヤマフジに対してノダフジと牧野富太郎が命名しました。万葉時代に詠まれているのは、分布からみて主にノダフジですが、万葉の人は区別していませんでした。



ヤマフジ

フジの花は淡紫色の蝶形花を多数つけて垂れ下がります。紫色の花は昔から高貴な色、優美な色として、各国でも高位を表しています。長寿や繁栄力がある家紋として、藤紋が使われています。平安時代の権力者の藤原一族の家紋でもあります。

秋の終わりに、林の中を歩いていると、熟したフジの実が頭上で「ぱちん」と大きな音を立て、種子がはじけて遠くへ飛び出します。碁石を小さくした堅い円盤のような黒い種子が落ちていて、驚くことがあります。

フジの皮の繊維からは織物が作られます。これを「藤布」と言います。この布は防水にすぐれ、しなやかで丈夫なため、縄文時代から、麻と共に、衣服や米袋などに利用されるなど、普段の生活に密着した生命を守る大切な織物でした。

平安時代には貴族の喪服は藤布で織られていました。江戸時代の中頃には木綿が普及し、段々と「フジづる」の織物は衰退していったと考えられていましたが、昭和37年に民族資料の調査で、京丹後市上世屋で「藤織り」が細々と伝えられていることが分かりました。現在でも伝統を守り、受け継がれています。

中国山地の帝釈峡などは花の房が細長く、色が薄いノダフジが多いですが、温暖な沿岸部は花の房が太く短い、色の濃いヤマフジが見られます。

緑化センター園内ではヤマフジとノダフジが見られます。花からはいい香がします。(上村)

昆虫の話

日本一美しい狩人

新緑が茂るこの季節、日当たりの良い林道を歩いていると足元の地面から飛び立ち、少し先に降り立つ、ちょっと変わった行動をする昆虫に出会います。この、変わった行動をする昆虫は「ハンミョウ(斑猫)」です。ハンミョウはその行動が道案内にみえることから「みちおしえ」の異名

を持つオサムシのなかまです。しかし、道を教えてもらおうと彼らをずっと追いかけて回していると道を外れてどこかに飛んで行ってしまいます。

彼らは日当たりが良く、斜面が崩れて土が露出している場所によくみられます。なぜなら、彼らの幼虫は土に穴を掘って暮らしているからです。彼らが多く生息する場所では一面穴だらけになっていることもあります。ハンミョウの幼虫の頭は穴の蓋の役目をしており、じっと穴の中で待ち構え、小さな虫が近づくと、びっくり箱のように勢い良く飛び出して獲物を捕らえるのです。

行動だけでなくその美しい姿もこの虫の特徴の一つです。まるで宝石のように輝く赤や青、緑の模様は日本一美しいと言われる昆虫「タマムシ」に引けをとらないほどの美しさです。

そんな美しく、愛らしい彼らですが英名は「タイガービートル」。名前通りの斑猫なんて優しいものではなく、虎のような狩人なのです。彼らのご飯は小さな昆虫、特に集団で噛みつくので他の昆虫に恐れられる「アリ」を好んで狩ります。地面を素早く歩き回るアリをもっと素早く走って追いかけて、大アゴで捕まえて食べるのです。小さい体を煌めかせて獲物を狩る姿はまさに日本一美しい狩人といって差し支えないでしょう。

そんな彼らがアゴで捕まえるのはアリだけではありません。ハンミョウのオスは、ひとまわり大きな体のメスに逃げられまいとして、大アゴで必死に捕まえる美しい恋のハンターでもあるのです。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



幼虫の巣穴



ハンミョウの幼虫



美しい狩人ハンミョウ

春の園芸作業

桜の花が散り始める頃、木々は芽吹き、花も次から次と咲き始めます。それに合わせて虫達も活動を始めます。庭に出るといろいろなことが目につき気になりますが春の作業はどのようなことがあるでしょう。

剪定; 常緑樹は新葉が出て落ち着く、5月下旬～6月頃、伸びすぎた枝を切り、形を整える剪定をします。また、花が咲くものは花が終わると間もなく、次の年咲かせる準備を始めます。来年も花を楽しみたい場合は、花後すぐ形を整える剪定をするのが良いでしょう。

病虫害駆除; 柔らかい新芽が出る頃、毛虫、イモムシ、アブラムシ、ハムシの仲間など害虫が発生します。発生したのを見つけたら殺虫剤を散布してください。

キンモクセイ、ヒラギモクセイの生垣の葉が虫に食われた後が残っているのを見ることがありますが、4月下旬～5月初旬発生するヘリグロテントウミハムシの食害痕です。予防のため殺虫剤を散布しておくとい良いでしょう。(山根)



ヘリグロテントウミハムシ

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| <p>○ 5月12日(土) 『春のバードウォッチング』
※ 自由参加・無料、双眼鏡持参</p> <p>○ 5月13日(日) 第2回ひろしま遊学の森
『こども写生大会』
春の緑化センターを描こう
※ 自由参加・無料、画材(画用紙以外)持参</p> <p>○ 5月15日(火) 『5月の自然探勝』
春すぎて 夏来にけらし
※ 自由参加・無料、ルーペ持参</p> <p>○ 5月23日(水) 『コケと草花の観察会』

※ 自由参加・無料、ルーペ持参</p> <p>○ 5月27日(日) 『庭木の病虫害教室』
薬剤散布について学ぼう
※ 自由参加・無料、</p> <p>○ 6月2日(土) 『松の手入れ(春)』
マツのみどり摘みを実践しよう
※ 要予約先着20名・剪定ばさみ・ノコ持参</p> | <p>10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：日本鳥類保護連盟会員
吉見 良一</p> <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：元中国新聞社図画教室
指導審査員 横山 直江</p> <p>10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：NHK 広島文化センター
アシスタント 上村 恭子</p> <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎</p> <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：樹木医
菅 信貴</p> <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：NPO 法人樹木医ひろしま
工藤 徹</p> |
|--|---|

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・七宝焼作品展(七宝焼同好会) 5月2日(水)～6月17日(日)

(パネル展示)

・緑化センターのコケ写真展 5月2日(水)～6月3日(日)



昨年の七宝焼作品展より

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

・ 春のおでかけキャンペーン ～5月27日(日)

緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!

・ 第17回ひろしま「山の日」県民の集い 6月3日(日)

レストハウス前広場

山の手入れ、ネイチャーゲーム、木工クラフト、ノルディック・ウォークなど



第17回ひろしま「山の日」
県民の集い

～ 森林公園 イベント情報 ～

- ・ 木の葉さがしゲーム 高校生以下(保護者同伴可)
5月4日(金・祝)
当日受付; 9:00～14:00 芝生広場 実施; 9:00～14:30
- ・ 森で写真をとろう どなたでも
5月12日(土)
当日受付; 9:30～芝生広場休憩所 実施; 10:00～12:00
- ・ 自然観察会(野鳥観察) 小学生以上
5月20日(日)
当日受付; 9:30～林業体験広場 実施; 10:00～12:00